



【 1. 短距離走ルール 】

1. ミッション

ロボットはスタート位置から一定距離離れた黒線まで、車輪パーツを動力として使わずに、コートから外れることなくできるだけ早く移動する。

2. 目的

自らロボットの機構とセンサーの使い方を考え、直進性の高いロボットを製作すること。

3. フィールド

以下のゲームフィールドで競技を行う。このフィールドは白い板と幅約 19mm の黒と白のビニールテープを用いて作製されるものである。



4. ルール

- ① ロボットのサイズは、**40cm×40cm×40cm 以内**とする。
(ただし、ケーブルは含まない。)
- ② ロボットは**車輪 (タイヤ、ホイールなどの円形や円筒、球などの丸い形状のものや、キャタピラなど)**を動力として移動してはならない。
つまり、**タイヤパーツをゴムとして使用するのは可能だが、動力としたりするなど、常に地面に接している状態のロボットは失格**とする。
- ③ ロボットは動き始めてから**赤いラインを超えてコートから外れてはならない**。
もし外れてしまうと**失格**とする。
- ④ ロボットはスタート後、変形してもよい。
- ⑤ 【ハンディ】 スタートからゴールまでの距離を、使用するマイコンが RCX の場合を基準に、NXT の場合は **+75cm**、EV3 の場合は **+100cm**、フリーロボットの場合は **+125cm** とする。

5. 競技進行

- ・ スタート前、ロボットはこの時点でプログラムを開始しておかなくてはならない。
- ・ スタート エリア背面の壁に **100mm×100mm の銀色のパネル**を、床から **50mm** の高さの位置に表示することでスタートの合図とする。
- ・ 競技は 2 台のロボットの対戦形式で行う。
- ・ 競技開始時、ロボット全体がスタートラインを超えないように（スタートラインに触れないように）セットしなければならない。
- ・ **ロボットの後端がゴールラインを超えたら**ゴールとする。

【順位決定方法】

- ・ スタートからゴールまでの時間が最も短かったロボットから順に高い順位となる。
- ・ ゴールタイムは**小数点第 2 位以下を四捨五入**する。
- ・ 【ハンディ】 ただし、学年のハンディとして、中学 2 年生には **2.0 秒**、中学 3 年生には **3.0 秒**、高校生には **6.0 秒**をゴールタイムに加算する。

6. その他

・ 【抽選について】

競技の順番は抽選によって決定される。

以下のような抽選方法を推奨する：① 中身の見えない箱に、チームの数だけの番号が書かれたカードを入れる。② チームの代表者が順にカードを引いていく。③ チームの代表者が引いたカードの番号の順番にロボットを走らせ、競技を進めていくこととする。（ただし、ロボットが並走することもある。）

- ・ 本ルール通りに行われなかったロボットは**失格**となる。
- ・ その他、詳細な規定は「共通ルール」に従う。
- ・ 本ルールは変更されることがあるので、更新をよく確認しておくこと。